

(レビ記結晶の学び二)

I. レビ記は予表の書です。キリストに対する最も細やかで、最も詳細な予表はレビ記にあります:

- A) キリストは不思議ですべてを含む方であり、明確な言葉でも彼を十分に啓示することはできません。実際には絵である予表もまた必要になります。
- B) レビ記は予表の書ですから、解釈される必要があります。使徒パウロはヘブル人への手紙においてレビ記を解釈しました。

II. ヘブル人への手紙はレビ記の解釈です:

ヘブル9:25 それは、大祭司が年ごとに、ほかの被造物の血によって至聖所へと入るように、彼がたびたびご自身をささげるためではありません。
26 もしそうだとしたら、彼は世の基が置かれて以来、たびたび苦しまなければなりませんでした。ところが今や、諸時代の終結に当たって、彼はただ一度、ご自身をいけにえとしてささげ、罪を取り除くために現されたのです。

- A) 私たちはレビ記の正しい理解を持つために、レビ記とヘブル人への手紙の間のつながりを見る必要があります。
- B) ヘブル人への手紙には、レビ記第1章から第7章におけるささげ物の予表の実際があります:
 - ① 罪のためのささげ物は、神の民の罪のためのささげ物としてのキリストを表徴しています。私たちの罪は、私たちの罪のためのささげ物としてのキリストによって対処されています。』
 - ② 罪のためのささげ物全体は、その皮とすべての肉を含め、頭と脚、内臓と汚物も共に、営所の外で焼かれました:
 - a. これが表徴するのは、キリストが罪のためのささげ物として、ユダヤ教の外でそしりを受けたということです。ヘブル13:11 なぜなら、動物の血は、大祭司によって罪のために至聖所へ持って行かれますが、その体は営所の外で焼かれるからです。12 こういうわけで、イエスもご自身の血を通して民を聖別するために、門の外で苦しまれたのです。
 - b. キリストはエルサレムの外で十字架につけられました。エルサレムはユダヤ教の組織を表す営所と見なされています。
 - ③ キリストが来たのは、レビ記におけるささげ物の予表に置き換わるためでした:
 - a. キリストは唯一のいけにえまたささげ物として、旧約のすべてのいけにえとささげ物を取り去り、ご自身を新約のいけにえまたささげ物として打ち立てました。
 - b. キリストが来たのは、真のいけにえまた生けるささげ物となるためでした。彼は、十字架上で彼ご自身をすべてのささげ物の実際としてささげました。

III. レビ記の中心思想は、宇宙的な、すべてを含む、無尽蔵のキリストが、神にとって、また神の民にとってすべてであるということです。ヘブル人への手紙はレビ記の解釈として、キリストの驚くべき、奥義的

な、すべてを含むパーソンを啓示しています:

- A) 私たちはレビ記だけでは、自分がささげ物としてささげ、享受しているキリストが、いかに偉大で、卓越しており、不思議で、すべてを含み、無尽蔵であるかを見ることができません。私たちはすべてを含むキリストの啓示を持つために、ヘブル人への手紙において啓示されているキリストの各面をよくよく考える必要があります。』
- B) 子なるキリストは、ヘブル人への手紙の中心また焦点です。
- C) 新約において、神は御子の中で、すなわち御子のパーソンの中で語ります:

ヘブル1:2 これらの日々の終わりには、御子の中で私たちに語られました。神は御子を万物の相続者と定め、また御子を通して宇宙を造られました。3 御子は神の栄光の輝きであり、神の本質の明確なかたちであって、彼の力ある言葉によって、万物を維持し担っておられます。そして、罪のきよめを成し終えてから、高き所の威光ある方の右に座られました。

 - ① 御子は神ご自身であり、表現された神です。
 - ② ヘブル人への手紙のエッセンスは、神が御子の中で語ることです。
 - ③ 父なる神は隠されています。子なる神は表現されています。御子は神の言また神の語りかけとして、御父を明らかに示し、御父を完全に表現し、説明し、解釈しています。
- D) 神格において、御子は神の栄光の輝きであり、神の本質の明確なかたちです:
 - ① 栄光は外側の表現であり、本質は内側のエッセンスです:
 - a. 神の外側の表現としての栄光について言えば、御子は神の栄光の輝きであり、御父の栄光の明るさです。
 - b. 神の内側のエッセンスとしての本質について言えば、御子は神の本質の明確なかたちであり、御父が何であるかの表現です。
 - ② 御子が神の栄光の輝きであり、神の本質の明確なかたちであるということは、御子が私たちに臨む神であることを意味します。』
- E) 神の創造において、御子は創造主、維持する方、相続者です:
 - ① 過去、万物は彼の中で、彼を通して、彼へと至るために存在するようになりました。
 - ② 現在、御子は彼の力ある言葉によって万物を維持しており、万物は彼にあってまとまっています。
- F) 御子は悪魔を滅ぼしました。時が満ちて、御子は来て、処女から生まれることによって肉体と成り、十字架上で彼の死を通して、悪魔を滅ぼしました。
- G) キリストは、私たちが栄光へ入るといふ満ち満ちた救いの創始者、キャプテンです:
 - ① 神の永遠の目標は、彼の多くの子たちを栄光の中へと、すなわち神の表現の中へともたらすことです。

- ②キャプテンとして、キリストはまず先に栄光の中へと入りました。彼に従う者である私たちは、同じ道を取って、神が私たちのために定めた同じ栄光の中へともたらされつつあります。
- H) キリストは使徒であり、神の家の建造者です：
ヘブル2:10 万物がその方のために存在し、万物がその方を通して存在する方が、多くの子たちを栄光へ導き入れるのに、彼らの救いの創始者を、苦難を通して成就されるのは、彼にふさわしいことでした。
 ①主イエスは、私たちの使徒であり、神から、神と共に、私たちに遣わされた方です。彼は神と共に私たちに来て、私たちと共に神を分かち合い、私たちが彼の神聖な命と性質にあずかるようにしました。
 ②キリストは彼の人性においては、神の家(神の建物)の材料です。またキリストは彼の神性においては、建造者です。』
- I) キリストは、あわれみ深い、忠信な、大いなる大祭司です：ヘブル3:6 キリストは御子として、神の家を治めることに忠信でした。…私たちは彼の家なのです。
 ①キリストがあわれみ深い、忠信な大祭司となることができるのは、彼が神の子であって、神性を持ち、また人の子であって、人性を持っているからです。彼があわれみ深いことは、彼が人であることと符合します。彼が忠信であることは、彼が神であることと符合します。
 ②キリストは私たちの大祭司として、彼のパーソン、彼の働き、彼の到達において大いなるものです。彼は天を通過して行きました。彼は私たちの弱さに同情します。
- J) キリストは、幕の内側に入った先駆者です。
 ①主イエスがに入った天は、今日、幕の内側の至聖所です。
 ②主イエスは先駆者として、率先して嵐の海を通過し、天の港へと入って、メルキゼデクの位による私たちのための大祭司となりました。
- K) キリストは、さらにまさった契約の保証です：
 ①22節の「保証」という言葉が意味するのは、キリストが彼ご自身を新契約に、また私たちすべてに担保として与えているということです。
ヘブル7:22 このようにして、イエスはさらにまさった契約の保証にもなられました。
 ②彼は保証人であり、彼が新契約の成就のために必要なあらゆる事を行なうことを保証します。
- L) キリストは、私たちを極みまで救うことができる大祭司です：
 ①キリストは私たちの大祭司として、私たちのためにとりなすことによって、私たちの案件を請け負います。
 ②キリストは私たちのために神の御前に現れ、私たちのために祈ります。それは私たちが救われて、神の永遠の定められた御旨へと完全にもたらされるためです。
- M) キリストは天の奉仕者です。
ヘブル7:25 こういうわけで、彼を通して神に進み出る者たちを、彼は極みまで救うことができるのです。なぜなら、彼はいつも生きていて、彼らのためにとりなしておられるからです。
26 このように、聖く、悪巧みがなく、汚れがなく、罪人とは分離しており、天より高くなされた大祭司こそ、私たちにふさわしかったのです。
 ①キリストは真の幕屋(天の幕屋)の奉仕者として、天(場所だけでなく、命の状態)を私たちの中へと供給します。それは、彼が地上におられた時に行なったように、私たちが天的命と力を持って、地上で天の生活をするためです。
 ②キリストは天の奉仕者として遂行することをすべて、その霊として私たちに適用します。彼が供給するものはすべて、私たちの霊の中へと伝達されます。』
- N) キリストは天の至聖所へ入り、永遠の贖いを獲得した方です：
 ①キリストは十字架上で贖いを完成しましたが、彼が贖いの血を通して天の至聖所へ入った時、すなわち、その贖いの血を神の御前へささげた時はじめて、永遠に効力のある贖いを獲得しました。
 ②神の小羊としてのキリストが、十字架上でいけにえとして、罪のために一度で永遠にご自身をささげることによって世の人の罪を取り除いたので、彼が天の幕屋で注いだ血は、私たちのために永遠の贖いを完成しました。こうして、私たちはキリストの尊い血で贖われました。
 ③キリストは今や私たちのために、神の御顔の前に現れてくださっている方です。
- O) キリストは、私たちのために新しい生きた道の開設者です：
 ①新しい生きた道の開設者として、キリストは彼の血によって、彼の肉体である幕を通して、私たちが至聖所に入る道を開きました。
 ②キリストというさらにまさったいけにえを通して、私たちは大胆に至聖所へ入ります。
 ③今日、至聖所は天にあり、主イエスはそこにおられますが、第10章19節において、至聖所は私たちの霊の中の至聖所を指しています。私たちの霊は神の住まいであり、神とキリストが住んでいる奥の間です。
- P) レビ記において予表され、ヘブル人への手紙において啓示されている、不思議な、すべてを含むキリストは、私たちの永遠の分け前です：
ヘブル10:19 こういうわけで、兄弟たちよ、私たちはイエスの血によって、大胆に至聖所へ入ります。
20 それは、彼が私たちのために、彼の肉体である幕を通して、一つの新しい生きた道を開設してくださったからです。
 ①ヘブル人への手紙において啓示されているキリストのすべての面は無尽蔵です。
 ②この不思議な、すべてを含むキリストは、私たちの永遠の分け前であり、私たちに享受させます。』

経験①: キリストを、すべてを含み、 無尽蔵な方として経験する

ヘブル人への手紙第 10 章 5 節から 10 節で私たちは、キリストが唯一のいけにえとささげ物であることを見ます。…いけにえは単数の罪と複数の罪を対処しましたが、ささげ物は神の喜びのための神への供え物でした。旧約におけるすべてのいけにえとささげ物は、新約における唯一のいけにえとささげ物としてのキリストの予表です。ささげ物としてのキリストを通して、私たちと神、神と私たちは相互の享受、共同の享受の交わりを持ちます。

キリストは唯一のいけにえまたささげ物として、旧約のすべてのいけにえとささげ物を取り去り、ご自身を新約のいけにえまたささげ物として打ち立てました。キリストは私たちのいけにえであって、単数の罪と複数の罪を対処します。また、彼は私たちのささげ物、私たちの供え物であって、神の満足のために神にささげられました。

キリストが来たのは、真のいけにえまた生けるささげ物となるためでした。彼は、十字架上で彼ご自身をすべてのささげ物の実際としてささげました。彼は罪のためのささげ物、違犯のためのささげ物、全焼のささげ物、穀物のささげ物、平安のささげ物の実際です。

レビ記の中心思想は、宇宙的な、すべてを含む、無尽蔵のキリストが、神にとって、また神の民にとってすべてであるということです。今日私たちは、キリストの享受について語るができますが、ある日、すべてのものはキリストの中でかしらにつり上げられるでしょう。その時、キリストは神と人にとってすべてとなられるでしょう。この方を享受することは、宇宙における唯一の祝賀となるでしょう。

中高生編

あなたは中高生であっても、祭司の任職を受けて、正式に新約の祭司となりました。祭司であるあなたは 5 種類の主要なささげ物、罪のためのささげ物、違犯のためのささげ物、全焼のささげ物、穀物のささげ物、平安のささげ物をささげなければなりません。これらすべてのささげ物の実際はキリストです。キリストはすべてを含み、無尽蔵で、神と神の民にとってすべてです。

キリストは理科系の勉強における秘訣であり、文科系の勉強における秘訣であり、先生との良い人間関係を築く秘訣であり、同級生との良い人間関係を築く秘訣であり、両親や家族の兄弟姉妹との良い人間関係を築く秘訣です。キリストは中高生のあなたにとって、すべてのすべてです。人間的な観点から言うと、理科系の科目で一番で、文科系の科目でも一番で、体育も一番で、音楽と美術も一番であり、人間性も一番優れているという人はおりません。ですから通常、数学では A さんに聞き、英語では B さんに聞き、体育では C さんに聞き、音楽では D さんに聞くこととなります。したがってあなたは習慣的に、「キリストはすべてを含み、あなたの必要のすべてである」ことをすぐに理解し、経験するのは難しいと言えるでしょう。

レビ記とレビ記の解説であるヘブル書は、あなたが信じ受け入れたキリストが、いかに偉大で、卓越してお

り、不思議で、すべてを含み、無尽蔵であるかを見せています。あなたは自分の観念を下ろし、思いを開いてキリストの卓越性とすべてを含むことを理解するために、次のように祈ってください:

「おお主イエスよ、私はあなたの宇宙的な偉大さを、自分の限られた経験や知性によって制限してはいけません。主よ、私は自分の霊を活用して、自分の思いと心を開きます。私に知恵と啓示の霊を与えてください。すべてを含むキリスト、宇宙的に拡大するキリスト、無尽蔵のキリストを認識し、経験させてください。そうしないと私にとってキリストは宝の持ち腐れになってしまいます。キリストを豊かに経験して、キリストが私の学校生活であふれ流れますように。アーメン！」

エペソ 1:17 どうか、私たちの主イエス・キリストの神、栄光の御父が、知恵と啓示の霊をあなたがたに与えて、あなたがたに彼を十分に認識させ、18 あなたがたの心の目が照らされ、神の召しの望みがどんなものであるかを、あなたがたが知るように、19 また神の力強い大能の活動にしたがって、信じる私たちに働く彼の力が、どんなに超越して偉大であるかを知るように。

兄弟の証し: 私は大学院修士課程の一年の時、非常に操作の複雑な実験をするように命じられました。それは細かく決められた時間ごとに様々な種類の微量の試薬を入れて化学反応させることで、ある物質を定量するものでした。これを時間ごとにサンプルを採取して行いますので、すばやくすべての事を行う必要があります。ピペットで微量の試薬を正確に取らなければなりませんし、時間の制限があります。実験の手順が複雑なので、大学の学生や先生がその実験をしても正確なデータを得ることが大変困難でした。私は手先が非常に不器用なので、このような作業を極めて苦手としていました。この実験は私にとっては恐怖でした。私は恐怖におびえながらも主の御名を呼んで、次のように祈りました、「主よ、あなたは私の手先の器用さです。あなたはご存知だと思いますが、私は普通の人よりも極めて手先が不器用な人です。しかし私は主に信頼します。私がこの実験の中であなたを経験することができますように」。このように祈った結果、私は実験に成功し、非常にきれいなデータを得ることができたので、先生は非常に驚いていました。主に感謝します。主は私の知恵と力であるだけでなく、私の実験をするのに要求される手先の器用さでもあります。ハレルヤ!

経験②: 霊を活用して至聖所に入り、召会生活と ビジネス・ライフにおいて、Win-win strategy を取る

ヘブル人への手紙第 10 章 19 節から 20 節は言います、「こういうわけで、兄弟たちよ、私たちはイエスの血によって、大胆に至聖所へ入ります。それは、彼が私たちのために、彼の肉体である幕を通して、一つの新しい生きた道を開設してくださったからです」。これらの節において私たちは、キリストが新しい生きた道の開設者であることを見ます。

新しい生きた道の開設者として、キリストは彼の血によって、彼の肉体である幕を通して、私たちが至聖所に入る道を開きました。このことは十字架での彼の死を指しており、それは宮の幕を裂いて、彼がご自身の血によって至聖所へ入るために一つの新しい生きた

道を開きました。至聖所で彼は神の直接の臨在の中におり、私たちの大祭司として、神であるすべてを私たちの命また命の供給として、天の雰囲気の中で、私たちの存在の中へと供給しています。至聖所は幕の内側にある場所であり、そこにおいて私たちは、天の雰囲気の中で神の豊富を供給するキリストを享受します。私たちは神聖な存在のそのような豊富を私たちの存在の中へと受け入れるとき、キリストを新しい生きた道の開設者として享受します。

ヘブル人への手紙第 10 章 19 節の至聖所は、私たちの霊の中の至聖所を指しています。私たちの人の霊は至聖所です。私たちの霊は神の住まいであり、神とキリストが住んでいる奥の間です。私たちは神とキリストを見たいのなら、天に行く必要はありません。キリストにある神はとても便利です。なぜなら、彼は私たちの霊の中にいるからです。私たちの霊の中の至聖所は、天にある至聖所に符合します。

在職青年編

ビジネス・パーソンであるあなたは召会生活と在職生活において、Win-win strategy を取るべきです。

マタイ 6:31 こういうわけで、『何を食うか？何を飲むか？何を着ようか？』と言って、思い煩ってはならない。32 なぜなら、これらの物はすべて、異邦人が切に求めているからである。あなたがたの天の父は、これらの物がすべてあなたがたに必要であることを、ご存じなのである。33 むしろ、まず父の王国と父の義を求めなさい。そうすれば、これらの物はすべて、あなたがたに加えられる。

Win-win strategy において、重要なことは、Priority (優先順位) です。あなたはキリストと召会を Priority No1 とし、ビジネス・ライフをその次とします。ですから両者にコンフリクトがある場合、キリストと召会を優先します。そうすれば生活の必要のためのビジネス・ライフも祝福されます。マタイ 6 章の啓示によれば、正しい優先順位の下で、召会生活とビジネス・ライフの両方が祝福されますので、これは Win-win strategy です。厳密に言って Win-win strategy は、バランスの問題ではなく、優先順位の問題です。さらに神の観点からすると、Lose-win または Win-lose は存在せず、Win-win または Lose-lose しか存在しません。あなたは Win-win と Lose-lose のどちらを選ぶでしょうか？

あなたが Win-win strategy を実行するために、天の至聖所とあなたの霊がつながっていることを認識してください。そして絶えず霊を活用し、霊の中で燃え、思いを霊に付ける生活をすべきです。Win-win strategy の生活とは天的な生活を地上で送ることですので、霊を活用して、至聖所に来る生活をしなければなりません。

例えば、あなたは最近仕事が忙しく、残業が増えてきています。あなたは主の知恵と力を活用して、残業を適切に管理する必要があります。このことにおいて、次の二つの基本的な認識を持ってください：

i. 日本の会社の労働効率は、先進国の中で最悪です。なぜなら残業が多すぎるからです。これは残業

を無制限にする日本の仕事文化の背後で、日本を支配する空中の権威を持つ支配者が、日本の労働者を、主を信じることと召会生活を送ることを妨げるために作った労働習慣です。あなたは残業を正しく管理することにおいて、霊的な戦いを戦わなければなりません。

ii. 残業し過ぎると集中力が無くなるので、多くの失敗を犯してしまいます。その結果、失敗をリカバリーするための作業が必要になり、負のスパイラルに陥ってしまい、労働効率はますます悪くなってしまいます。あなたは会社が嫌なので残業を制限するのではなく、会社で成功するために残業を正しく管理してください。それはまた、あなたが正常な召会生活をするために必要なことです。

祈り: おお主イエスよ、私をサタンの策略から救い、残業によって召会生活が妨げられることがないように助けてください。残業の仕事文化は、私たち信者が正常な召会生活をするのを妨げます。私はサタンとサタンの手下である空中の権威を持つ支配者に敵対して戦います。私は召会生活とビジネス・ライフにおいて、Win-win strategy を取ります。私を証しのあるビジネス・パーソンにしてください。主の御名の中で祈ります。

詩歌 388 第二首

- 1 すでに得たり、宇宙にて さいこうのたから；
キリストをば得たり、われよろこばん！
- 2 この主、かみの小ひつじ、わがつみになえり；
かみのこう義、たい陽、いやすひかり。
- 3 この主、いのちの木なり、そのにてせい長し、
その木の實しよくせば、供給はゆたか。
- 4 この主、いのちのいずみ、生けるみずながす；
うちをとわにながれ、かわきのぞく。
- 5 わがいのち、ひかり、みち、なぐさめ、けんこう、
わがほこり、栄光、豊富、平安、よろこび。
- 6 主はわが知恵、われの義、せいけつ、じっさい、
われのすくい、ちから、かい放、しょう利。
- 7 この主、わがさい司なり、御まえにとりなす；
けい示と預言に満ち、王の権威、持つ。
- 8 主はすくいぬし、仲保者、医者、ぼく者、げん首
わがかみ、主、ちち、あに、師、おつと、しん友。
- 9 主はわが将ぐん、キャプテン、たたかいでみちびく；
護えい、ガイド、じゆう者、まもり、照らす。
- 10 主はわが永遠の住まい、わが豊富な良き地、
とりで、とう、かくれ場、永遠のもく標。
- 11 主はわがのぞみ、ねがい、よろこび、まんぞく；
わが褒しょう、もくてき、供きゆう、たすけ。
- 12 主はわれの肥えた土地、はるのあめとつゆ；
まことのぶどうの木、なれに住まう。
- 13 主はわがまつり、新げつ、しんの安そくにち；
主はわれのあさ、ひる、現ざい、えい遠。
- 14 この主、万ゆうに満てり、ことばに言い得じ；
かれははじめ、おわり、またすべてぞ。
- 15 なんとるたから得しぞ、こころさげばずや！
キリストをば得たり、われよろこばん！